



平成30年6月14日

各 位

会社名 日比谷総合設備株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 西村善治  
 (コード番号 1982 東証第一部)  
 問合せ先 上席執行役員 管理本部 IR・広報室長  
 池知宏志  
 (TEL 03-3454-2720)

(訂正・数値データ訂正)  
 「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成30年5月10日に公表いたしました「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

## 記

## 1. 訂正の理由

「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に訂正すべき事項があることが判明したため、これを訂正するものであります。

## 2. 訂正の内容

## (1) サマリー情報 1 ページ

## 1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
30年3月期	百万円 <u>5,671</u>	百万円 <u>9,856</u>	百万円 <u>△ 14,203</u>	百万円 12,669
29年3月期	5,270	2,225	△ 2,096	11,345

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
30年3月期	百万円 <u>5,672</u>	百万円 <u>9,863</u>	百万円 <u>△ 14,211</u>	百万円 12,669
29年3月期	5,270	2,225	△ 2,096	11,345

(2) 添付資料 4ページ

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、56億71百万円(前連結会計年度比4億1百万円増加)となりました。

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、98億56百万円(前連結会計年度比76億30百万円増加)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が増加したこと等によるものです。

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、△142億3百万円(前連結会計年度比121億7百万円減少)となりました。これは主に自己株式の取得による支出が増加したこと等によるものです。

以上により、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、126億69百万円(前連結会計年度末比13億24百万円増加)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率 (%)	66.2	67.2	62.8	65.4	68.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	53.9	55.8	50.3	50.4	57.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	2,243.7	2,383.3	3,215.8

(訂正後)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、56億72百万円(前連結会計年度比4億1百万円増加)となりました。

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、98億63百万円(前連結会計年度比76億37百万円増加)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が増加したこと等によるものです。

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、△142億11百万円(前連結会計年度比121億15百万円減少)となりました。これは主に自己株式の取得による支出が増加したこと等によるものです。

以上により、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、126億69百万円(前連結会計年度末比13億24百万円増加)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率 (%)	66.2	67.2	62.8	65.4	68.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	53.9	55.8	50.3	50.4	57.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	2,243.7	2,383.3	3,216.1

## (3) 添付資料 13ページ

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他	821	△281
小計	7,507	7,751
利息及び配当金の受取額	246	269
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△2,481	△2,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,270	5,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出 (中略)	△185	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,225	9,856
財務活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
リース債務の返済による支出	△5	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,096	△14,203
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,399	1,324
現金及び現金同等物の期首残高	5,945	11,345
現金及び現金同等物の期末残高	11,345	12,669

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他	821	△281
小計	7,507	7,752
利息及び配当金の受取額	246	269
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△2,481	△2,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,270	5,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出 (中略)	△185	△338
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,225	9,863
財務活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
リース債務の返済による支出	△5	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,096	△14,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,399	1,324
現金及び現金同等物の期首残高	5,945	11,345
現金及び現金同等物の期末残高	11,345	12,669

(4) 添付資料 16ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	設備工事業	設備機器 販売事業	設備機器 製造事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	58,029	5,742	3,066	66,838	—	66,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	4,030	469	4,503	△4,503	—
計	58,032	9,773	3,535	71,342	△4,503	66,838
セグメント利益	2,622	338	200	3,161	10	3,171
セグメント資産	<u>36,474</u>	9,382	2,511	48,369	35,276	<u>83,645</u>

(省略)

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	設備工事業	設備機器 販売事業	設備機器 製造事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	58,029	5,742	3,066	66,838	—	66,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	4,030	469	4,503	△4,503	—
計	58,032	9,773	3,535	71,342	△4,503	66,838
セグメント利益	2,622	338	200	3,161	10	3,171
セグメント資産	<u>36,380</u>	9,382	2,511	48,369	35,276	<u>83,550</u>

(省略)

以上